

第60回 仙台矯正管区教誨師研修福島大会（JKA競輪補助事業）

平成30年10月18日(木) 開催

研究討議

討 議 題

「原点を見つめ、未来を拓く宗教教誨」

発 表 者

青森県教誨師会・山形県教誨師会・岩手県教誨師会・宮城県教誨師会



記念講演

演 題 「福島第一原子力発電所の現状と福島復興本社の取り組み」

講 師 東京電力ホールディングス株式会社

福島復興本社副代表

青 柳 英 明 氏

研修の成果

本大会は昨年からのテーマ「未来へ」を受けて、討議題を「原点を見つめ、未来を拓く宗教教誨」といたしました。全国教誨師連盟が作成したポスターに「教誨師は、刑務所などに収容されている人との対話を続けています」とあります。対話とは、宗教教誨を指すものと受け止めます。私たち教誨師は、全教連の定款に掲げる目的を忘れず、原点を見つめ、被収容者とどう向き合い、よりよい宗教教誨の実現を図るのかそれが問われ、また、求められています。

本大会では、上記4名の発表者がそれぞれの立場から宗教教誨に従事する姿勢と活動の内容を発表し、参加者との意見交換を行い、全員で討議題を考え、被収容者の再犯防止・改善更生のために、教誨師としての使命の喚起を促し、被収容者との対話を続ける共通認識を深める研修となり充実した成果を上げることができました。

記念講演は、福島が抱えています「東京電力・福島第一原子力発電所の現状と福島復興本社の取り組み」について講演をいただきました。私たちにとって、教養として幅広い知識の習得も宗教教誨を実施する上で大事な欠かせない要件でもあります。

福島でしかできないホットな情報を事故から7年7か月過ぎた今の現状と取り組みを、参加した皆さまと少しでも共有することができればと願いました。講師のお話を拝聴し、たいへん有益な時間となることができました。

最後になりますが、本大会は、平成最後の大会にもなり、一昨年に引き続いての福島県が大会を主管いたしました。そのような実情から日程は1日の開催でした。終了後の意見交換会も実施いたしませんでした。運営を主管した福島県教誨師会といたしましては、大会をたいへん円滑に実施でき、今後の大会運営を考える機縁ともなりましたことを添えさせていただきます。

○ 研修会風景



○ 研究討議



○ 講演

